

2015
5/29

達人の指摘から学ぶ レビューのポイント

自己紹介

根本紀之

東京エレクトロン宮城（株）

好きな言語 C#

4月から **QAグループ**に移籍しました！

JaSST 東北実行委員長

アジャイルジャパン仙台サテライト **実**

行委員

JaSST 北海道実行委員

仙台ソフトウェアテスト勉強会主催



不具合の方が意識に残りやすい



んがくく...

喉元過ぎれば熱さを忘れる...

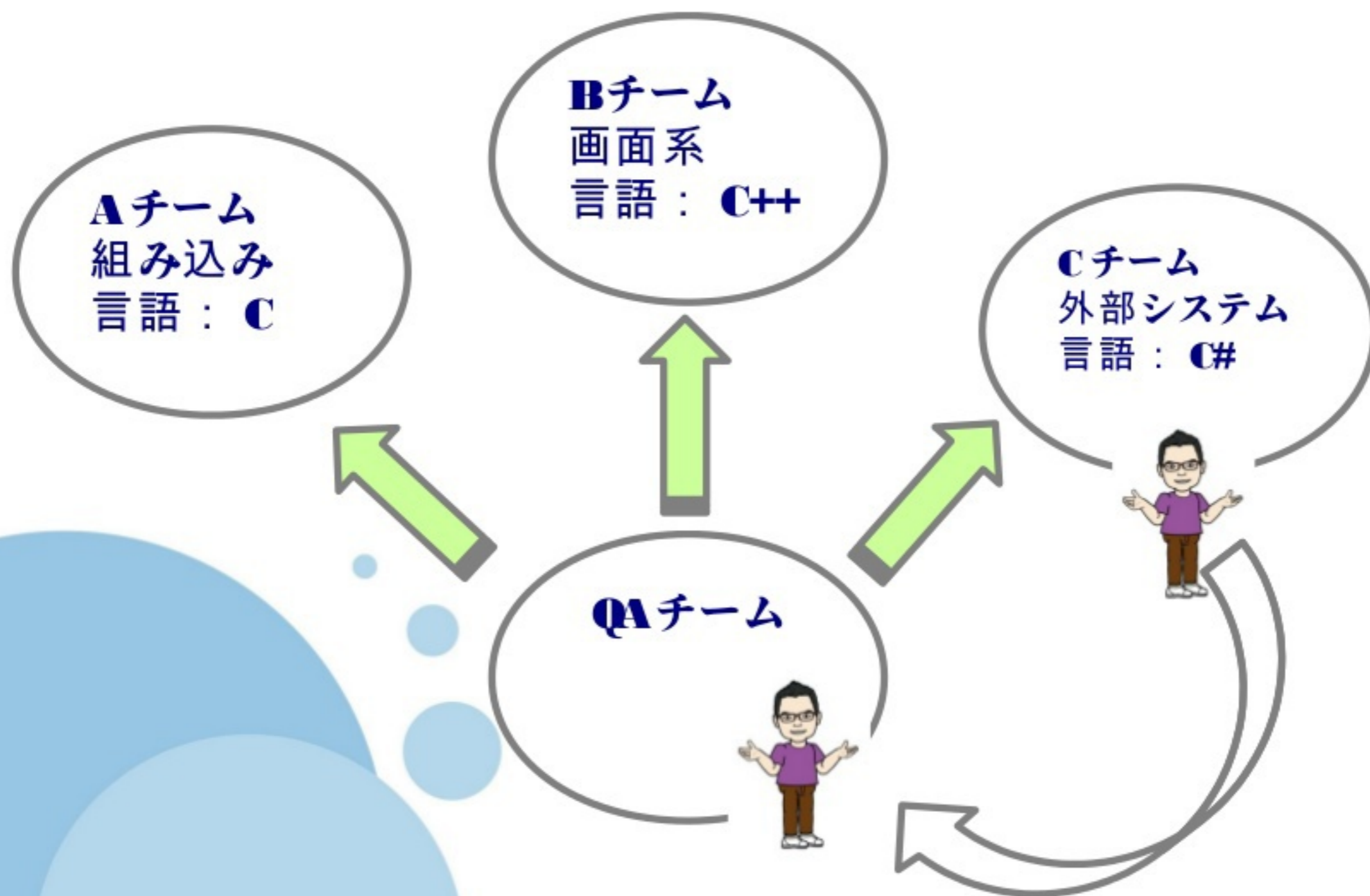
今日の話は・・・

レビューの
指摘

なかなか活用されにくい宝物を
上手に利用しましょう！
という話です。



開発→QAに異動



色々なチームのレビューをすることになった...

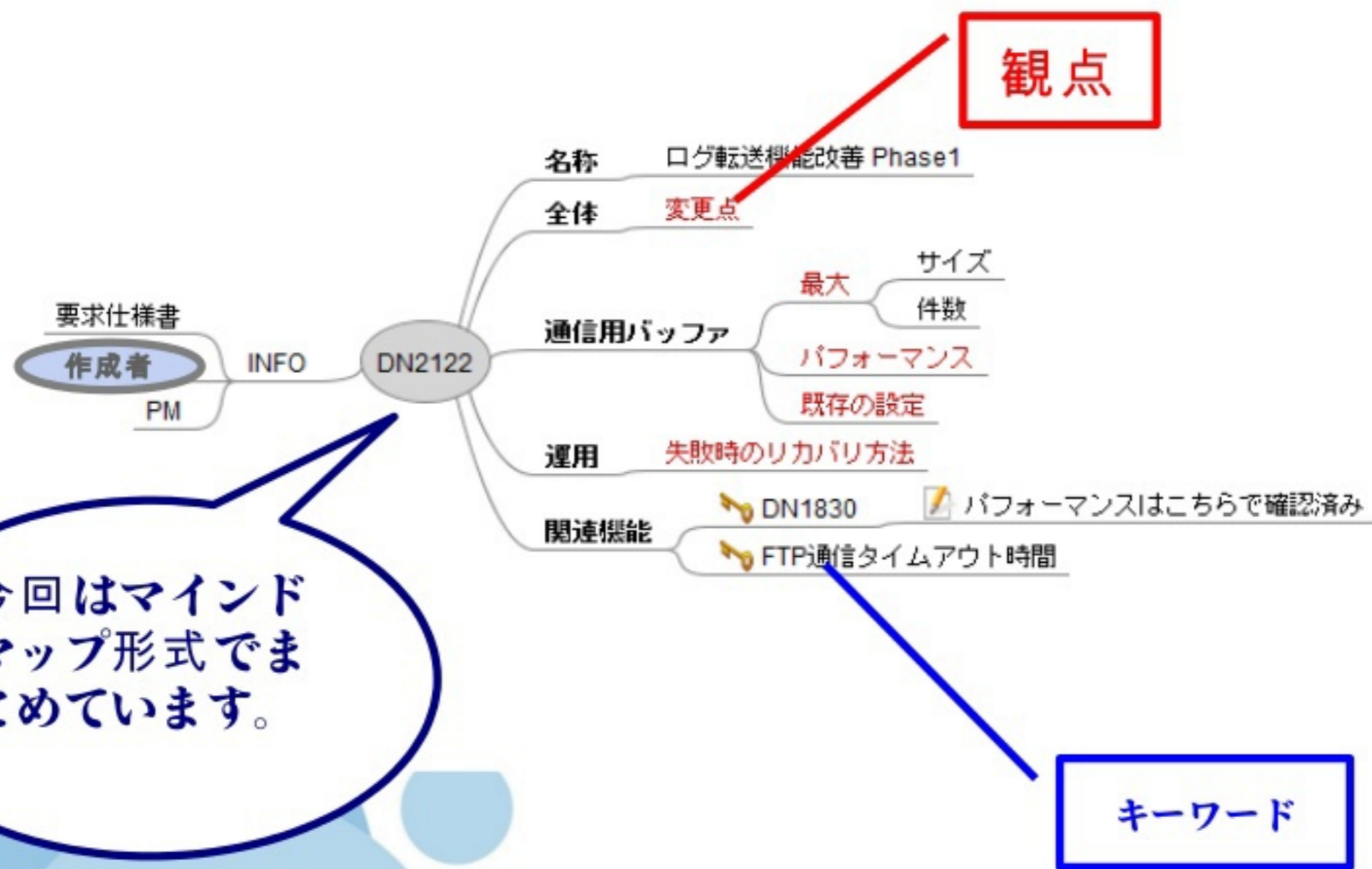
ドメインの知識が少ない・・・

・・・でもレビューする必要がある

そうだ！達人の指摘から学ぼう ！



指摘から観点とキーワードを導出



今回はマインドマップ形式でまとめられています。

観点とキーワード

1. 観点

- 次に同じような案件が来たときに、自分が達人と同じ指摘を出せるように観点を考える
- 観点を考えたら本当に出せるか再確認し、精度を上げていく。

1. キーワード

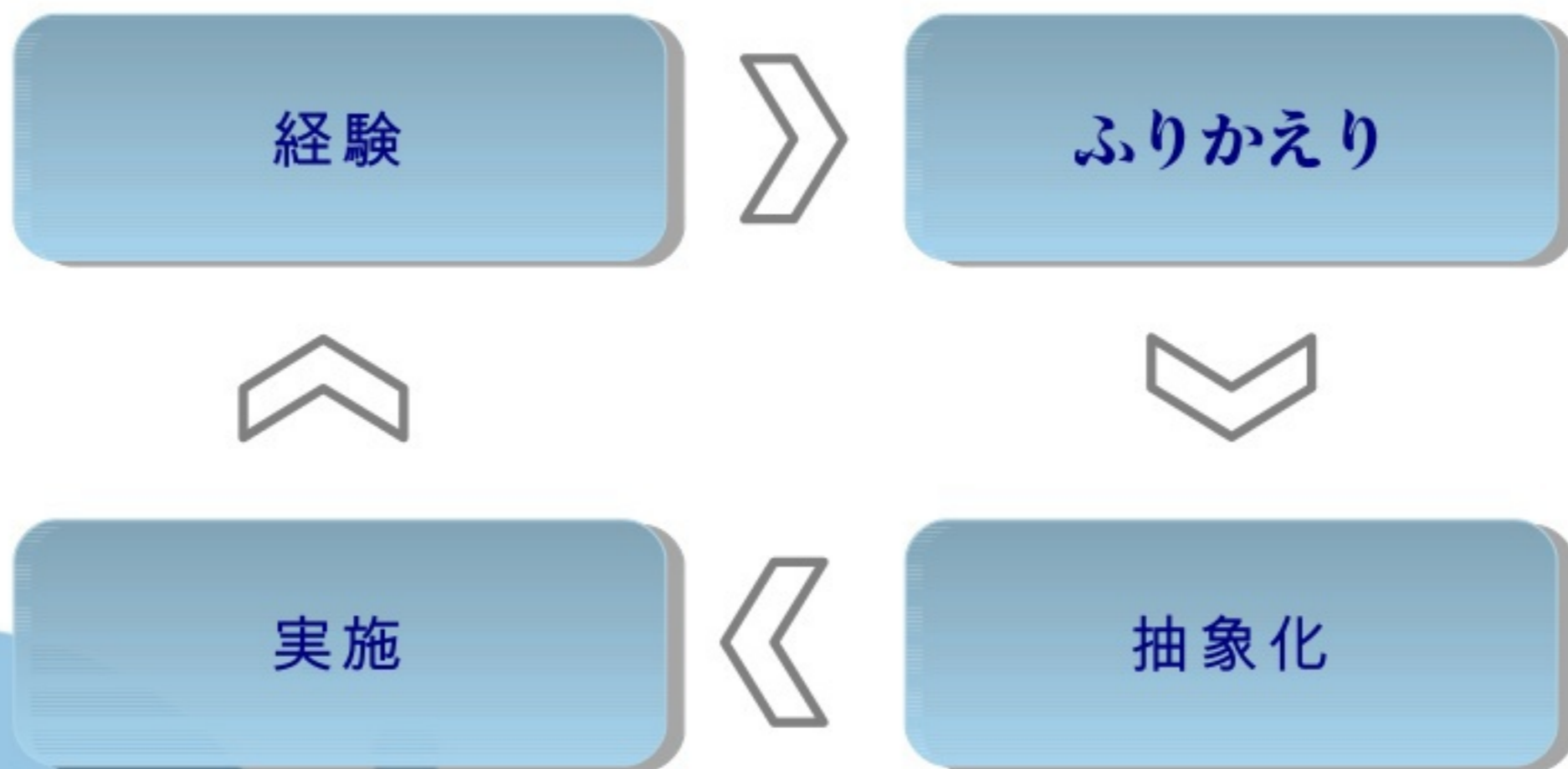
- 他の開発などのときに検索でひっかかるように“具体的”なキーワードを書いておく
- 機能間の依存関係を確認するのに役立つ
 - 例えば機能名や具体的な設定値など

分からないことは放置しない！

- 分からないことは達人に直接聞くようにする。
- ドキュメントがある場合は、ドキュメントを確認し全体を捉えるようにする。



実は学習のプロセスだった



参考：デービッド・コルブの「経験学習モデル」

まとめ

- 不具合に比べ一般には活用が少ないレビュー指摘であるが、達人の指摘は宝物である
- 達人のレビューの指摘を観点とキーワードに分けて整理することで、次回レビュー時の助けとなる
- ドメイン固有の分からないこと / 気になることに関しては、達人に直接聞いたり、別に調べる時間を取り全体的な知識をつけていくように心がける

Have a nice Review.